

職員の幸せを

福祉村保育園（二〇〇四年～）

子供は、親御さんに生きがいと幸せをもたらしてくれる大切な宝物であるだけでなく、社会にとっても大事な大事な宝物ですから、みんなが協力して育ててゆきたいと考え、山本病院でも福祉村病院でも、院内に保育室を設けて、職員のお子さんの保育をしてきましたが、二〇〇三年に福祉村の中に、特養の「第二さわらび荘」が出来、その一階には、広くて立派な「ふれあいホール」がありますので、レジデンスなかまの多目的ホールの役割はなくなりました。

そこで二〇〇四年に、この多目的ホールをつぶして、本格的な保育園を作りました。

室内はクッションフロアや天然木などの安全な材料を使ってありますから、子供達は安心して遊べます。

0～1才児と2～6才児の二つの部屋に分かれ、それぞれ担当の保母が、それぞれの年齢にあった保育を行っています。

たくさんの本がある図書室で、お気に入りの絵本を読んだり、松谷建設が寄付して下さった50インチの超大型テレビの置かれた遊戯室で、テレビの幼児番組を見たり、体操したりして、思いきり遊んでいます。

屋外には、砂場ができ、また、夏にはプールで遊べるような安全な園庭も整備されました。